

2022年6月期
第2四半期決算説明会資料

株式会社リファインバースグループ
(東証マザーズ：7375)



2022年2月

再生樹脂・産廃事業ともに好調に推移。前年同期比で大幅な増収増益を達成し、4四半期連続で黒字を確保。3Q以降にソリューション事業の大型案件の収益計上を見込んでおり通期業績予想に向けて順調に進捗。

① 業績

- ✓ CTR事業は市場でのリサイクルカーペットタイルの需要が増加しており堅調に推移。
- ✓ 高機能樹脂事業は、リサイクルナイロン樹脂「REAMIDE」に対する引き合いが好調。生産高・売上の拡大に向け生産性改善を継続中。
- ✓ 産廃事業はコロナ禍で行っていたDX化・新サービスの提供など顧客の利便性を高める取組みが奏功し新規顧客からの受注が増加し過去最高の受注高を更新。

② 新規事業

- ✓ 漁網リサイクルのパートナー企業との協業により北海道エリアでのREAMIDEの生産体制を構築中。当下期に量産開始を予定。
- ✓ ソリューション事業において廃材処分バリューチェーン改革によるコスト削減ソリューションの受注獲得。当下期に稼働開始を予定。

③ 課題

- ✓ 三菱ケミカルとの廃プラケミカルリサイクル事業化に向けた取組みを加速。
- ✓ 脱炭素・SDGs等への関心の高まりを背景に新規事業機会が増加しているため、人材を強化しこれらのビジネスチャンスを取り込んでいく。
- ✓ 産廃事業の受注増に対応可能なオペレーション構築のためのリソース強化が課題。

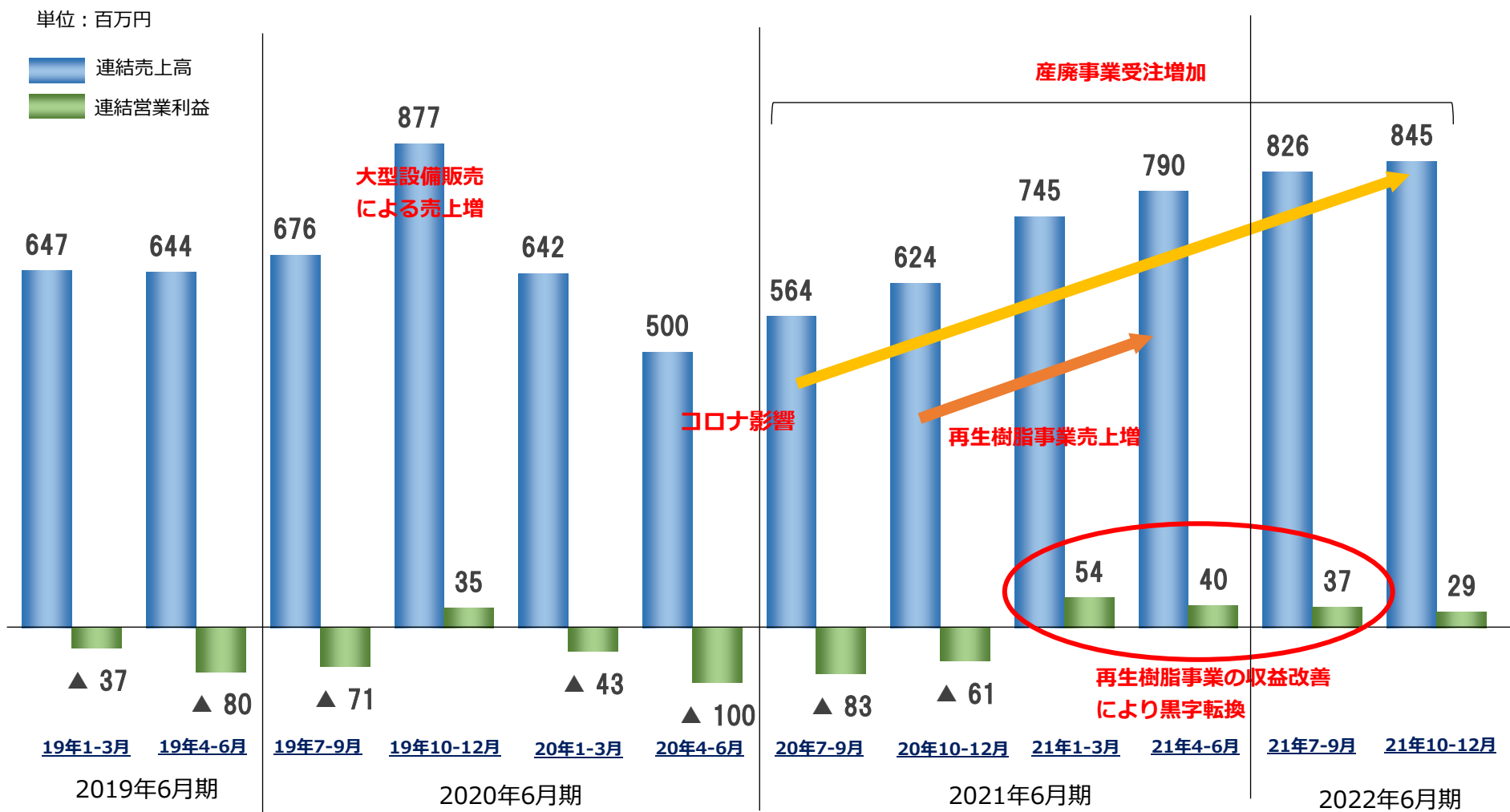
前期下期に黒字転換後、4四半期連続で黒字を継続。全事業で売上高・営業利益が前年同期比を上回り堅調に推移。

	2021年6月期2Q		2022年6月期2Q				(単位：百万円)
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額	増減コメント
売上高	1,187	100.0%	1,670	100.0%	140.7%	483	6四半期連続の増収で成長継続
売上総利益	248	20.9%	475	28.5%	191.1%	226	受注・生産数量の拡大による生産性改善で粗利増
販売管理費	393	33.1%	409	24.5%	104.2%	16	発信力強化のための展示会出展やホームページリニューアルで支出増
営業利益	△144	△12.1%	65	3.9%	—	210	4四半期連続で黒字継続
経常利益	△158	△13.4%	30	1.8%	—	189	
当期純利益	△156	△13.2%	29	1.8%	—	186	

※2021年6月期は、2021年7月1日をもって完全子会社化したリファインバース株式会社の連結損益計算書となります。

過去3年間は製鋼副資材事業の富津工場や高機能樹脂事業の一宮工場の立上げなどの先行投資により赤字が継続。前第3四半期より連結営業黒字に転換し利益貢献フェーズが継続。

《連結売上高・営業利益推移》



再生樹脂事業は廃タイルカーペットの処理受託の価格改定とREAMIDEの生産・販売増により売上が大幅増。
 産廃処理事業はコロナ影響から回復と営業強化による新規顧客からの受注増により過去最高の受注件数を記録。

	2021年6月期2Q		2022年6月期2Q				(単位：百万円)
	金額	構成比 (利益率)	金額	構成比 (利益率)	前期比	増減額	増減コメント
再生樹脂製造販売事業							
売上高	402	33.7%	616	35.9%	153.0%	213	廃タイルカーペットの処理受託の価格改定とREAMIDEの生産・販売増で収益性アップ
セグメント利益・ 損失(△)	△161	△40.1%	15	2.4%	—	177	
産業廃棄物処理事業							
売上高	791	66.3%	1,097	64.1%	138.7%	306	コロナ影響から回復し、受注堅調半期ベースで過去最高の売上高
セグメント利益・ 損失(△)	107	13.6%	228	20.7%	212.6%	120	
全社費用							
全社費用	123		179		145.7%	56	

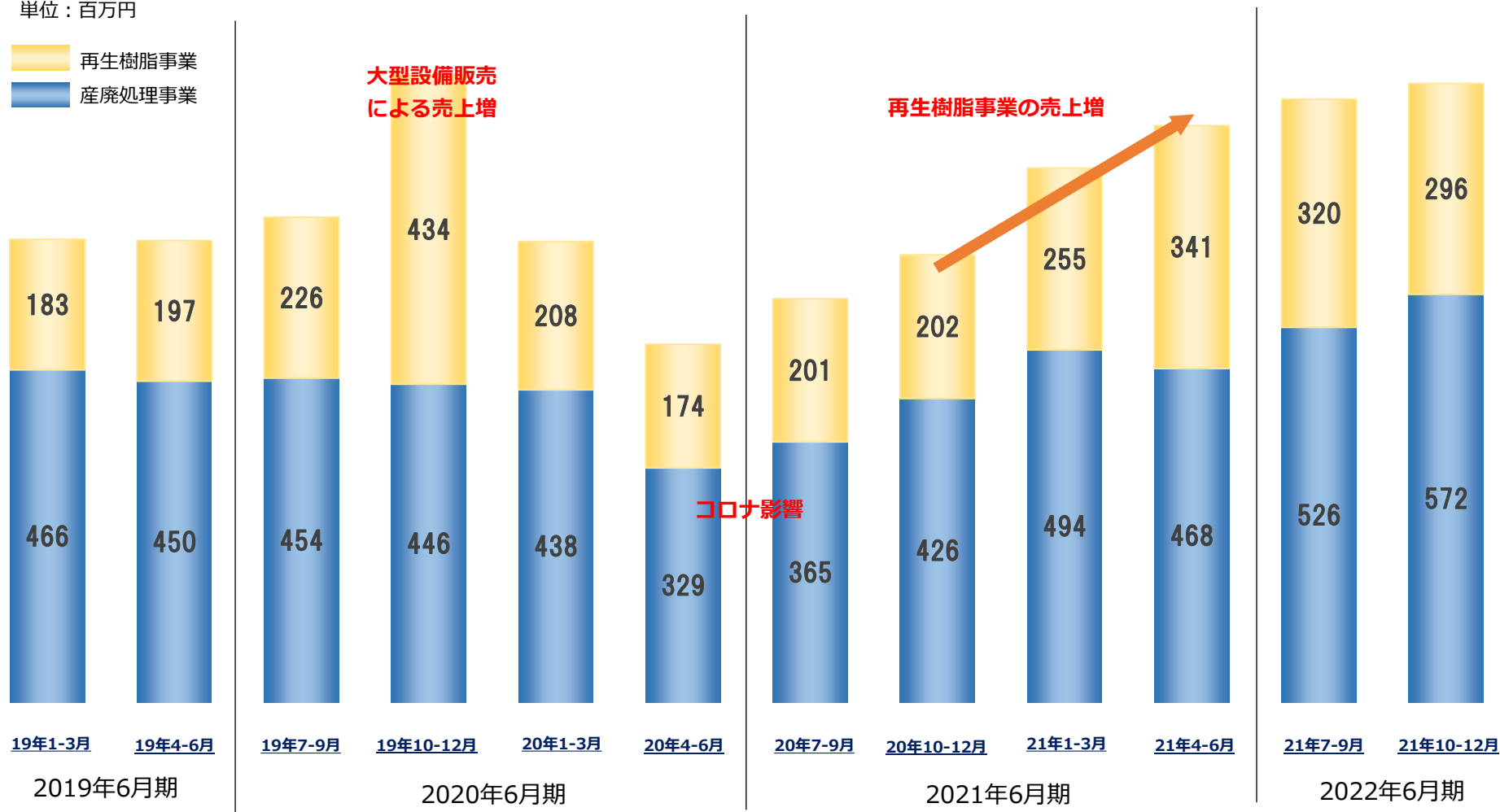
※2021年6月期は、2021年7月1日をもって完全子会社化したリファインバース株式会社のセグメント情報となります。

再生樹脂事業はCTR事業の価格改定、高機能樹脂事業の販売数量増加などにより収益を確保。
産廃処理事業はコロナ禍で取り組んだDX化・新サービスの提供など顧客評価が高まり過去最高の売上高を記録。

《セグメント別売上高推移》

単位：百万円

再生樹脂事業
産廃処理事業



大型設備販売
による売上増

再生樹脂事業の売上増

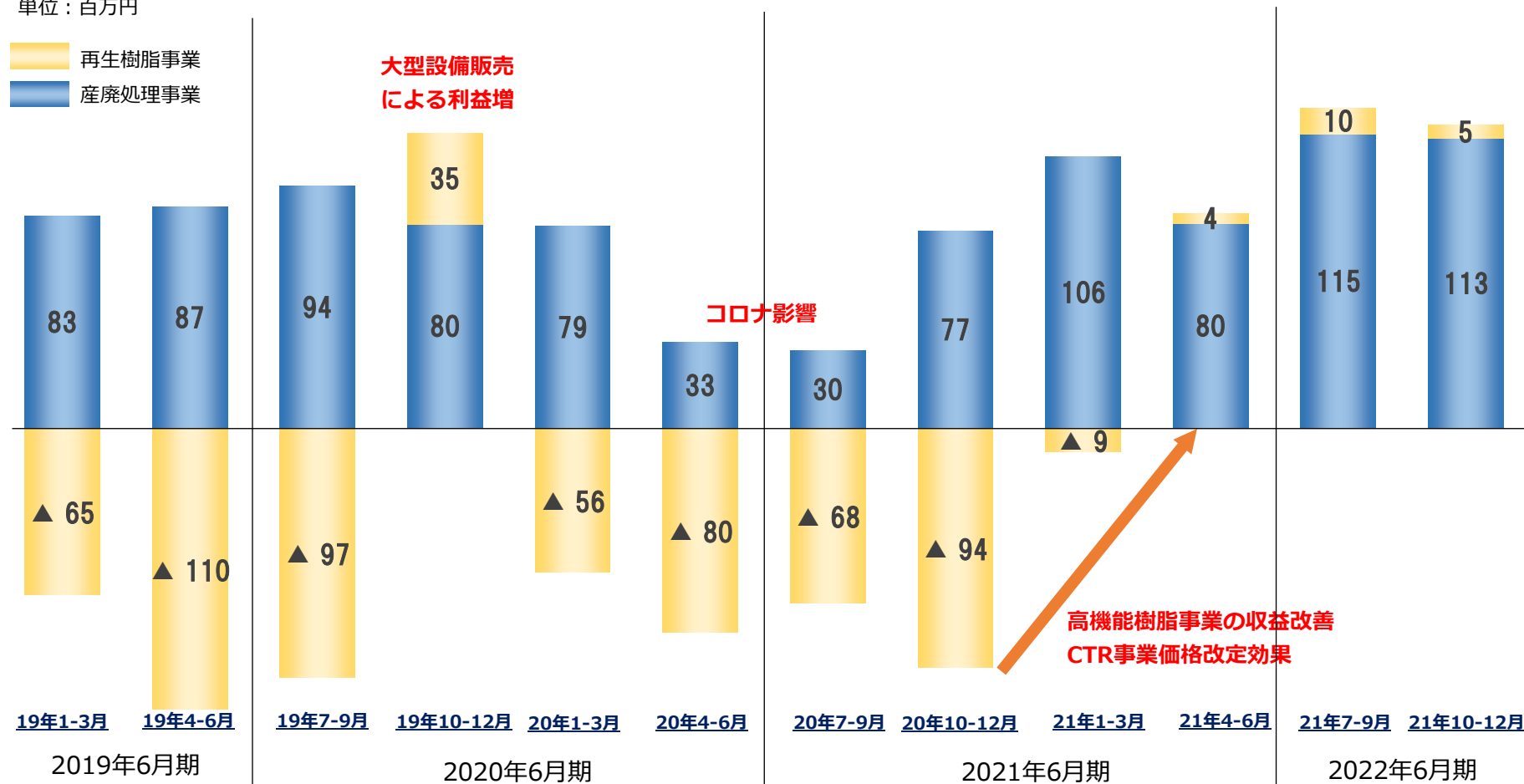
コロナ影響

再生樹脂事業は黒字継続。ソリューション事業の受注獲得で更に利益の上乗せを見込む。
産廃処理事業は好調な受注高を維持しており、過去最高水準の利益を確保。

《セグメント利益推移》

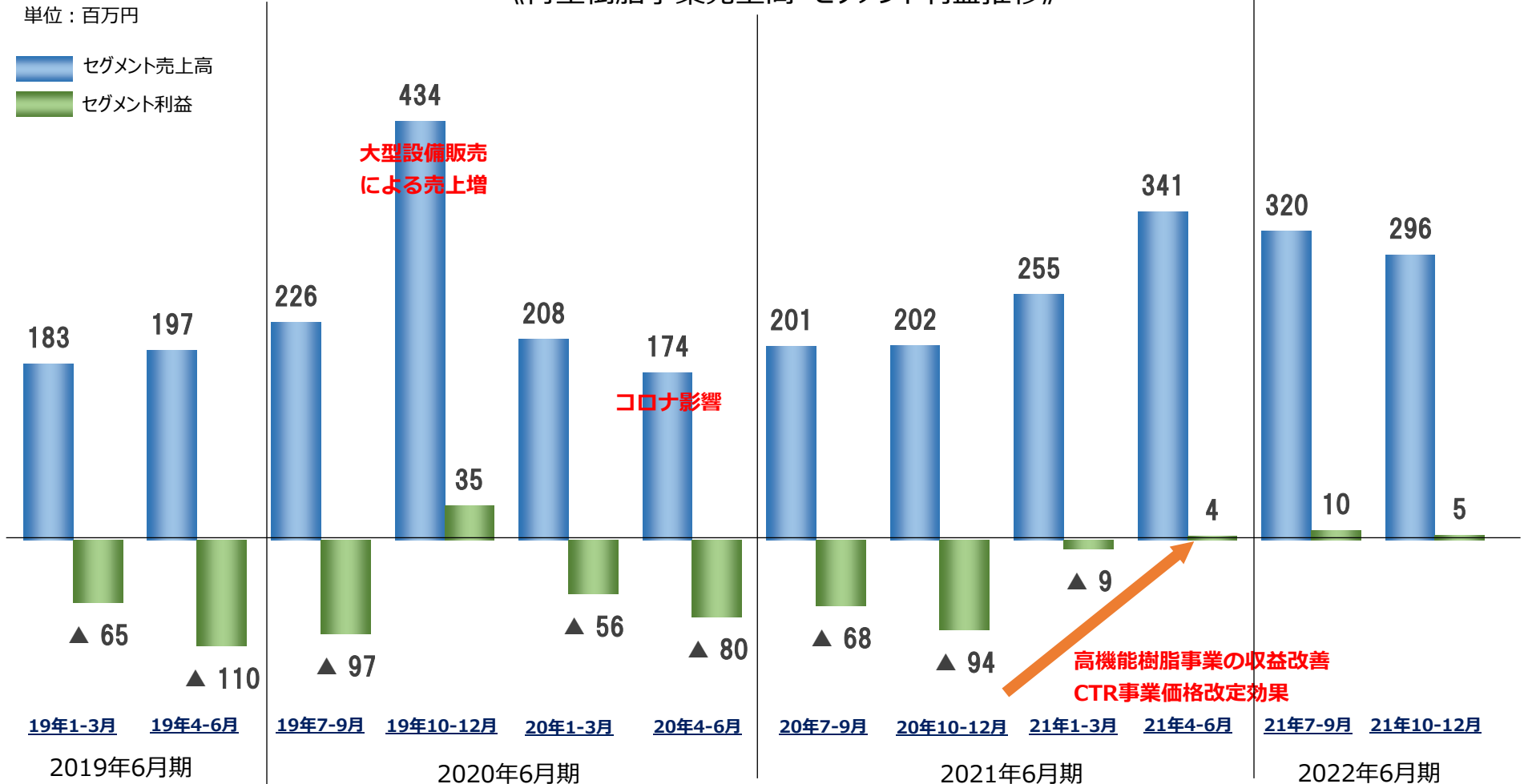
単位：百万円

再生樹脂事業
産廃処理事業



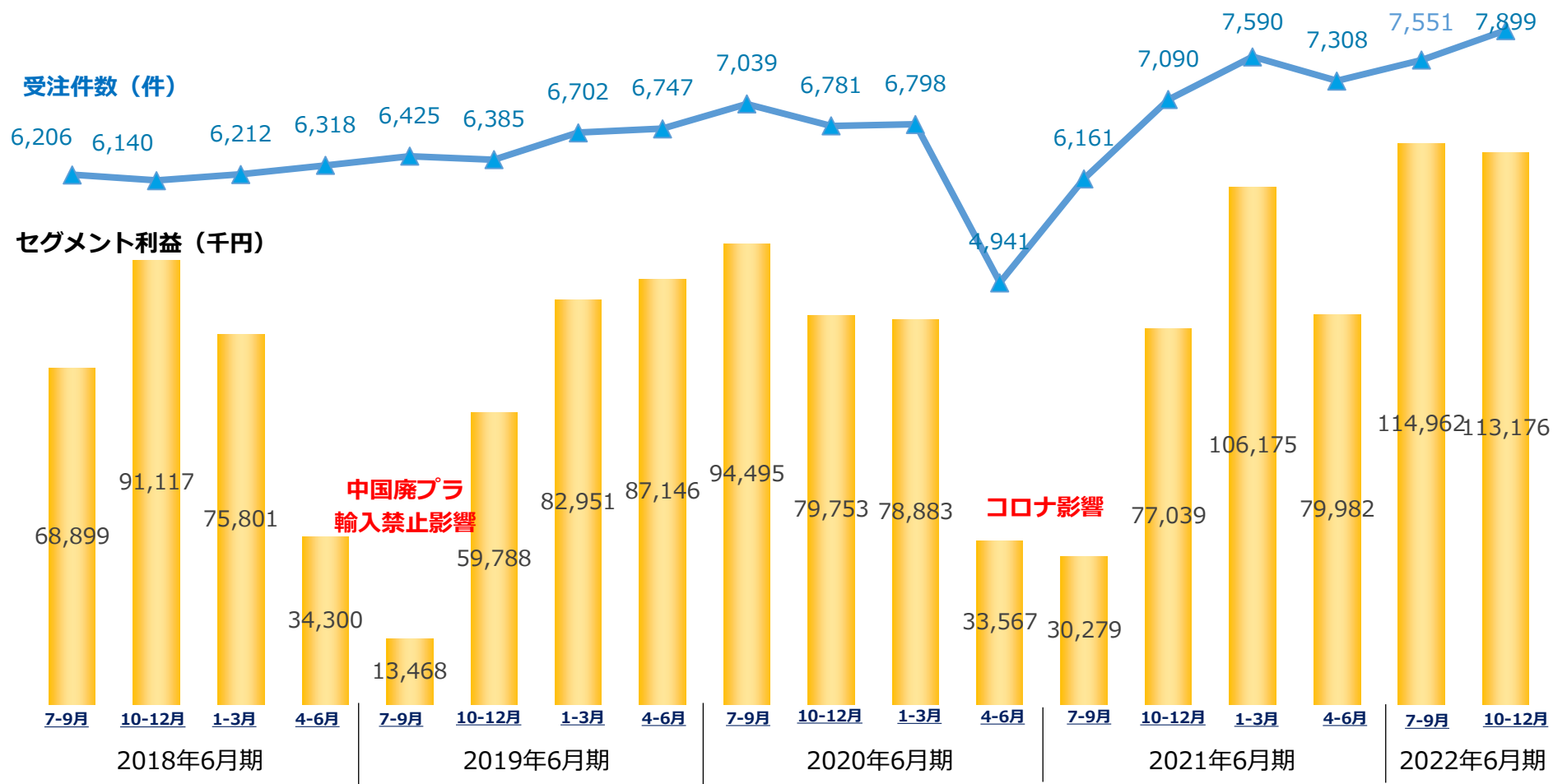
新規事業への先行投資による赤字から前第4四半期より黒字に転換後、3四半期連続で黒字継続。
2Qは高機能樹脂の軽微な設備トラブルによる一時的な減産が影響し売上を落とすものの現状は生産量が漸次増加。
生産量の増加とソリューション事業の設備販売等により3Q以降で大きな伸びを見込む。

《再生樹脂事業売上高・セグメント利益推移》



自社開発システムを利用したDX化の推進や新サービスの提供により顧客の利便性を高める取組みが奏功し新規顧客からの受注が増加。四半期ベースで過去最高の受注高となるもオペレーションの対応力向上が課題。

《産廃事業受注件数・セグメント利益推移》



黒字により純資産増加。減価償却及び借入金返済により総資産は減少。

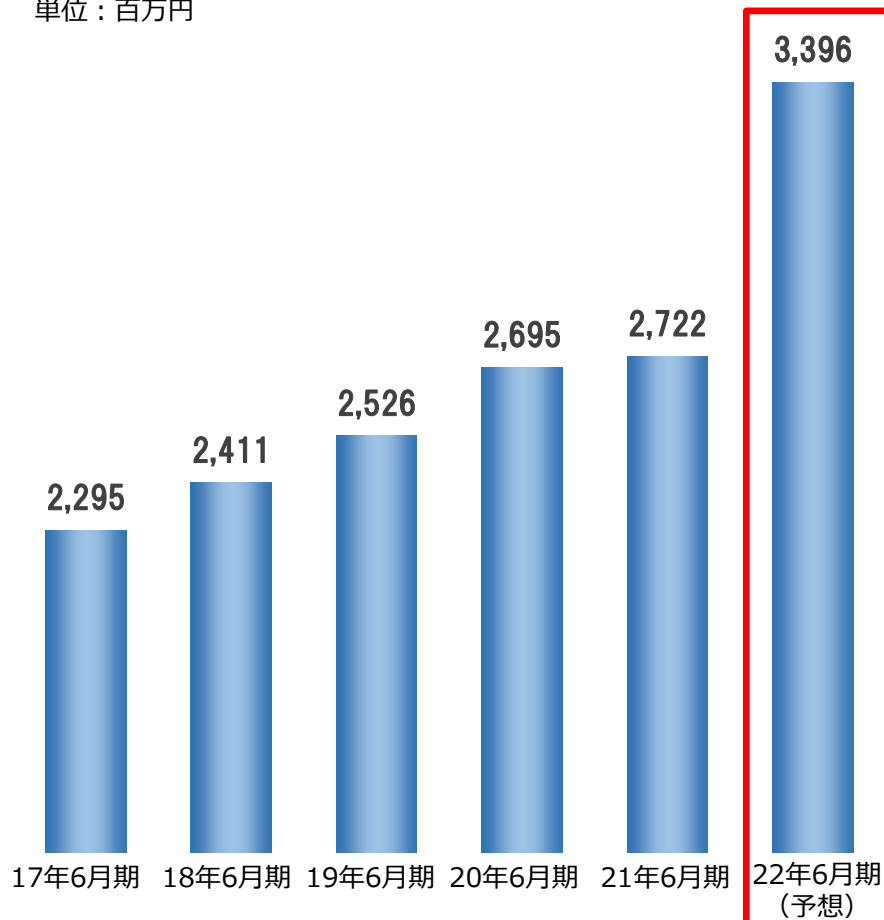
単位：百万円	2021年6月末	2021年12月末	増減額
流動資産	1,225	1,229	4
現金及び預金	534	506	△28
受取手形及び売掛金	404	421	17
その他	285	300	15
固定資産	1,667	1,624	△42
有形固定資産	1,504	1,464	△39
無形固定資産	22	21	△1
投資その他の資産	140	138	△1
繰延資産	21	12	△9
開業費	21	12	△9
資産合計	2,914	2,867	△47
流動負債	773	868	94
支払手形及び買掛金	60	94	34
1年内返済予定長期借入金	372	376	3
その他の流動負債	340	397	56
固定負債	1,770	1,586	△183
長期借入金	1,444	1,279	△164
その他の固定負債	325	306	△19
負債合計	2,544	2,454	△89
純資産	370	412	41
負債純資産合計	2,914	2,867	△47

※2021年6月末は、2021年7月1日をもって完全子会社化したリファインバース株式会社の連結貸借対照表となります。

21年6月期はコロナ禍の影響を受けながらも8期連続増収・過去最高売上高を達成。
今期は再生ナイロンやソリューション事業の成長により売上高・利益ともに大きく伸び、売上高・EBITDAともに過去最高を更新する見込み。

《連結売上高推移》

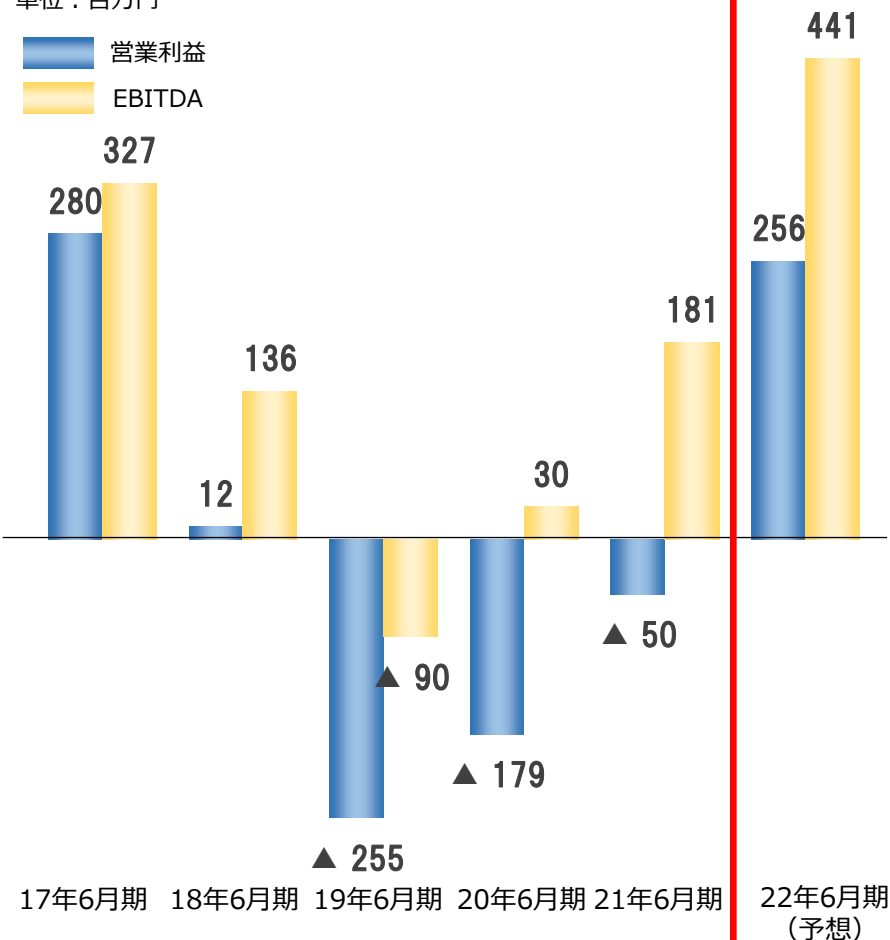
単位：百万円



《連結営業利益・EBITDA》

単位：百万円

■ 営業利益
■ EBITDA



前回予想継続。既存事業は堅調に推移、再生ナイロンやソリューション事業は先行投資フェーズから利益貢献フェーズに移行。4期連続の増収増益を見込む。

	2021年6月期実績		2022年6月期予想			
	金額	構成比	金額	構成比	前期比	増減額
(単位：百万円)						
売上高	2,722	100.0%	3,396	100.0%	124.8%	674
売上総利益	713	26.2%	1,032	30.4%	144.7%	319
営業利益	△50	△1.8%	256	7.5%	—	306
経常利益	△74	△2.7%	228	6.7%	—	302
当期純利益	△170	△6.3%	178	5.2%	—	348

再生樹脂製造販売事業

- ✓ カーペットタイルリサイクル事業においては2021年4月に行った処理受託単価の改定により通期で収益改善効果を見込む。
- ✓ ソリューション事業は複数の設備販売案件の受注済で今期の収益計上見込み。
- ✓ 高機能樹脂事業のリアミドは生産量の増加による販売数量の増加、繊維化等による高付加価値化して拡販見込み。

産業廃棄物処理事業

- ✓ 新型コロナウイルスの影響は落ち着いており受注状況は堅調に推移する見込み。
- ✓ 新サービスの提供などにより新規顧客開拓を推進し顧客基盤の拡大を目指す。

前提条件

資源循環社会の実現に向けた取組みが注目される中、外向けのPR促進のためエコプロ2021へ出展。REAMIDEを始めとする当社製品を展示・紹介。問い合わせが多数あり、新規ビジネスを開拓中。

エコプロへの出展



ブース全体像



REAMIDEから作られた、ゴルフバッグや洋服、ボタンなどを展示



小型押出機・3Dプリンターを使って、
廃漁網を原料にREAMIDE製ウミガメをデザイン

- 会社名 : 株式会社リファインバースグループ
- 資本金 : 152,875千円 (2021年12月31日現在)
- 設立 : 2021年7月
- 所在地 : 本社 東京都中央区日本橋人形町3-10-1
- 取締役 : 代表取締役 越智晶 (兼リファインバース(株)代表取締役社長 リファインマテリアル(株)代表取締役社長)
常務取締役 加志村竜彦
取締役 瀧澤陵
取締役 裕村順也
取締役 青木卓 (兼 (株)ジーエムエス代表取締役社長)
取締役 堀内賢一
社外取締役 鮫島卓
社外取締役 奥村繁
- 従業員 : 156名(グループ全体)
- グループ企業 : リファインバース株式会社、株式会社ジーエムエス、リファインマテリアル株式会社

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。